

大阪外環状線（新大阪～都島）鉄道建設事業に係る  
環境影響評価

事後調査報告書

平成24年11月

大阪外環状鉄道株式会社

### 1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地

事業者の名称：大阪外環状鉄道株式会社

代表者の氏名：代表取締役社長 男山 倫夫

主たる事業所の所在地：大阪市中央区高麗橋二丁目1番10号(高麗新ビル4階)

### 2. 対象事業の名称

大阪外環状線(新大阪～都島)鉄道建設事業

### 3. 対象事業の実施状況

事業計画路線の位置は下図に示すとおりです。



図 事業計画路線位置図

なお、東海道乗越工区の状況は、平成22年度末から東海道線の橋梁改築を、平成23年11月からおおさか東線の高架橋の工事を行っています。(仮)西吹田駅周辺工区については平成24年6月から準備工、高架橋の基礎杭工事を行っています。

工事工程表は、下記に示すとおりです。

工事の状況（平成23年8月～平成24年10月）

工事内容	平成23年度						平成24年度								
	平成23年			平成24年			平成24年			平成24年					
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
<b>東海道乗越工区</b>															
準備工			掘削												
高架橋				基礎杭・掘削			地中梁		中層梁						
盛土工															
橋梁改築															
<b>(仮)西吹田駅周辺工区</b>															
準備工															
高架橋									基礎杭						

4. 事後調査の方法

①事後調査の項目

事後調査の項目は事後調査計画書により、表-4.1 に示すとおりです。

表-4.1 事後調査の項目

区分	環境項目	事後調査の項目
建設工事中	騒音	建設機械の稼働に伴う騒音
	振動	建設機械の稼働に伴う振動

②調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法

調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法は事後調査計画書により、表-4.2 に示すとおりです。

表-4.2 建設工事中における調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法

環境項目	事後調査の項目	内 容	
騒 音	建設機械の稼働に伴う騒音	調査事項	・騒音レベルの 90%レンジ上端値
		調査地点	・工区ごと(事業敷地境界の 1 点)
		調査期間及び頻度	・準備工、杭基礎工、盛土工、掘削工 実施時に 1 回ずつ ・作業時間中 ・複数の建設機械が稼働する場合等、影響が大きくなる時期を対象として実施する
		調査方法	・「環境騒音の表示・測定方法(JIS Z 8731)」に準拠
		環境保全目標	・騒音レベルの 90%レンジ上端値が 85 デシベル以下
振 動	建設機械の稼働に伴う振動	調査事項	・振動レベルの 80%レンジ上端値
		調査地点	・工区ごと(事業敷地境界の 1 点)
		調査期間及び頻度	・準備工、杭基礎工、盛土工、掘削工 実施時に 1 回ずつ ・作業時間中
		調査方法	・「振動レベル測定方法(JIS Z 8735)」に準拠
		環境保全目標	・振動レベルの 80%レンジ上端値が 75 デシベル以下

## 5. 事後調査の結果及び検証

### (1) 建設機械の稼働に伴う騒音

建設工事の準備工として、作業時の騒音を調査しました。調査結果は別紙-7(5 頁)のとおりです。

ここで、調査対象機械は 0.4 m<sup>3</sup>バックホウ(低騒音型)、測定位置はバックホウから 7.3m 点(敷地境界)でした。

別紙-7(5 頁)のとおり、騒音調査結果は 70 デシベルであり、騒音の環境保全目標(85 デシベル)を満足しています。

建設工事の基礎杭工として、作業時の騒音を調査しました。調査結果は別紙-7(6 頁)のとおりです。

ここで、調査対象機械はリバース杭掘削機、測定位置はリバース杭掘削機から 5.2m 点(敷地境界)でした。

別紙-7(6 頁)のとおり、騒音調査結果は 69 デシベルであり、騒音の環境保全目標(85 デシベル)を満足しています。

## (2) 建設機械の稼働に伴う振動

上記 5(1)騒音と同様に、準備工として、掘削時の振動を調査しました。調査結果は別紙-8(7 頁)のとおりです。

ここで、調査対象機械は 0.4 m<sup>3</sup>バックホウ(低騒音型)、測定位置は 0.4 m<sup>3</sup>バックホウから 7.3m 点(敷地境界)でした。

別紙-8(7 頁)のとおり、振動調査結果は 54 デシベルであり、振動の環境保全目標(75 デシベル)を満足しています。

上記 5(1)騒音と同様に、基礎杭工としての作業時の振動を調査しました。調査結果は別紙-8(8 頁)のとおりです。

ここで、調査対象機械はリバース杭掘削機、測定位置はリバース杭掘削機から 5.2m 点(敷地境界)でした。

別紙-8(8 頁)のとおり、振動調査結果は 56 デシベルであり、振動の環境保全目標(75 デシベル)を満足しています。

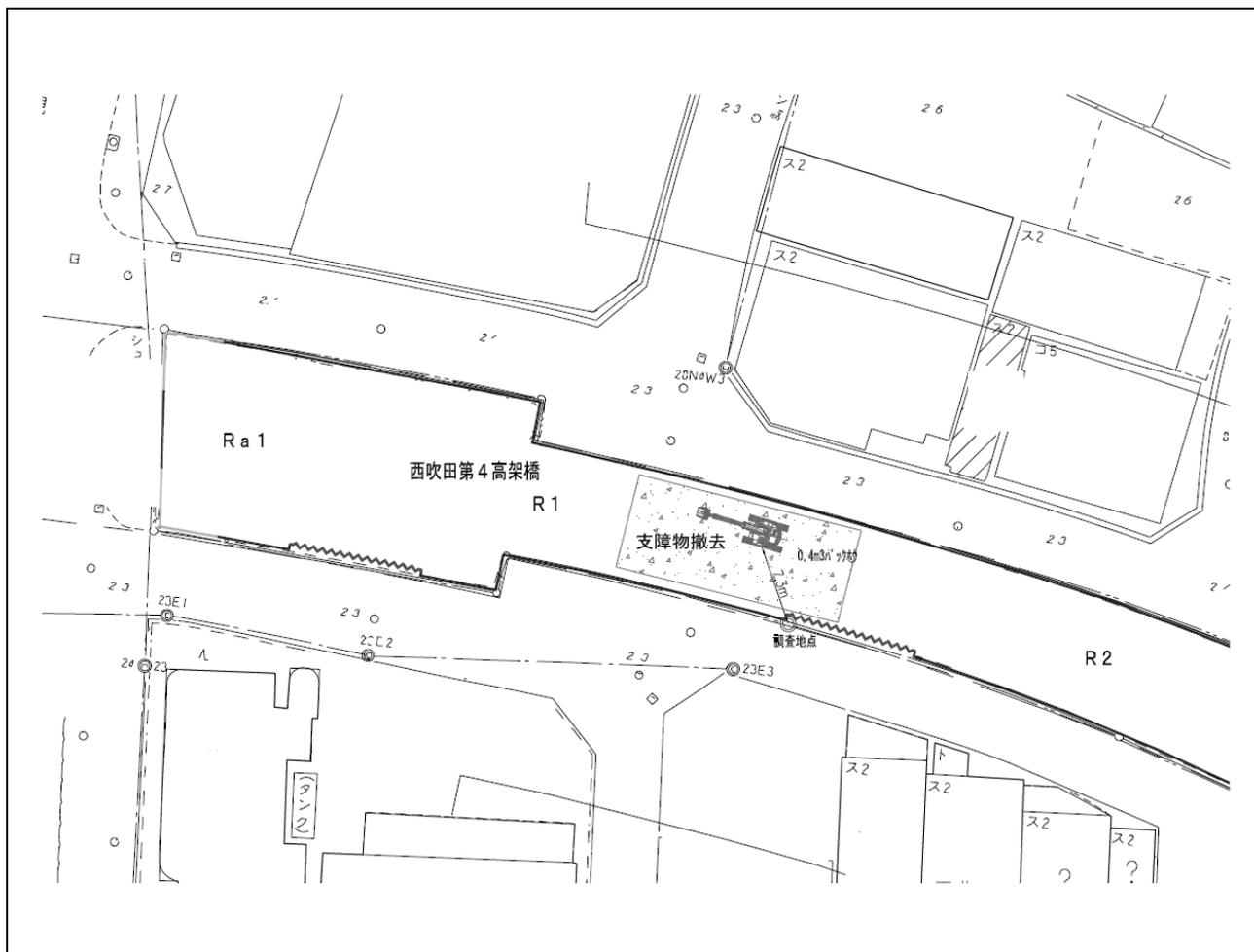
工事騒音様式

建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

工区：(仮)西吹田駅周辺工区 用途地域：第一種住居地域 調査日：平成24年10月26日

工種	測定時間	調査結果		環境保全目標	主な使用建設機械	主な作業内容	備考
		騒音レベルの90%レンジ上端値(デシベル)	作業内容および使用機械	騒音レベルの90%レンジ上端値(デシベル)			
準備工	9:29 ～ 9:38	70	・支障物撤去工 ・0.4 m <sup>3</sup> バックホウ(低騒音型)	85	・0.4 m <sup>3</sup> バックホウ(低騒音型)	・支障物撤去工	

調査地点位置図・機械配置図



(注)測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

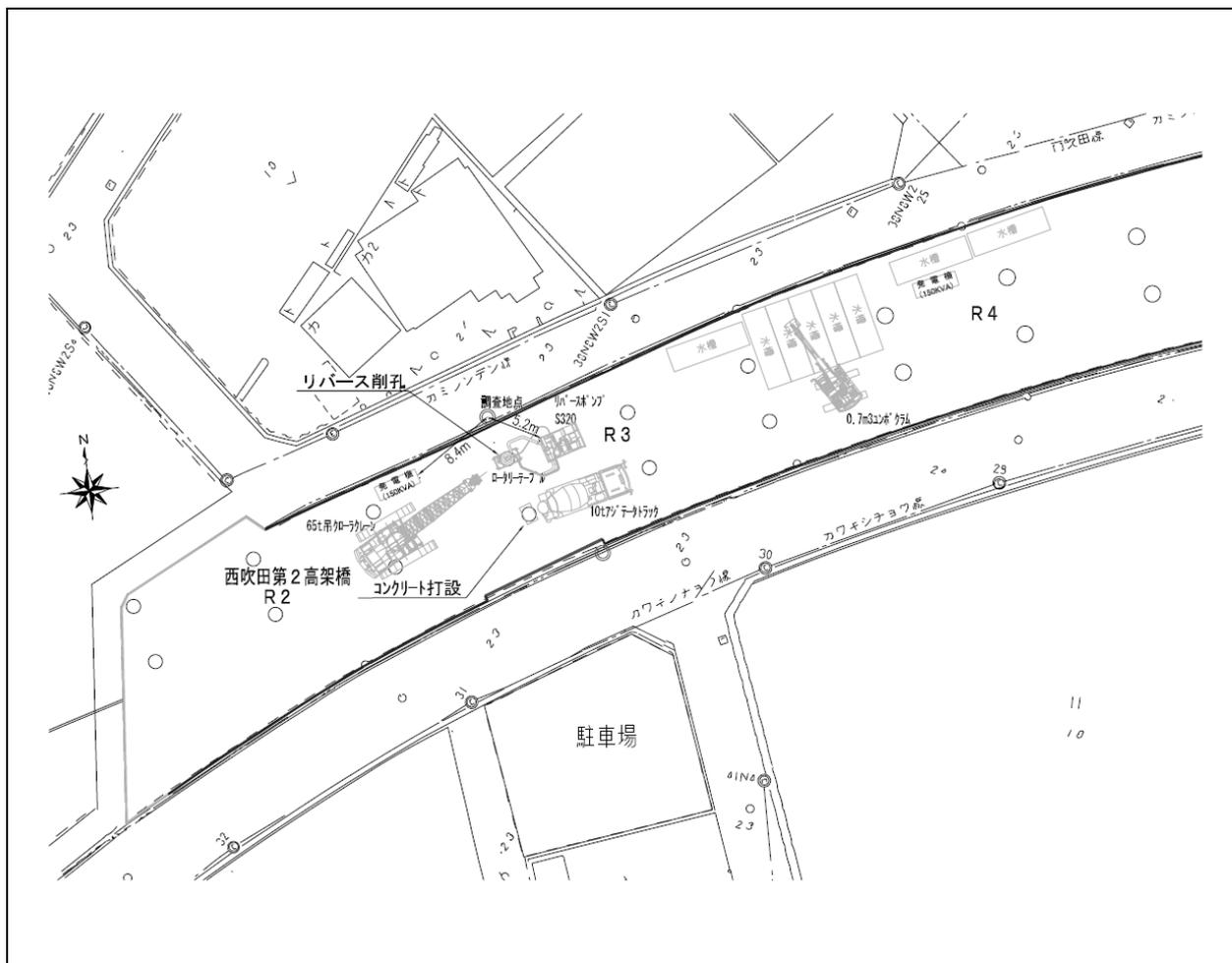
工事騒音様式

建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

工区：(仮)西吹田駅周辺工区 用途地域：第一種住居地域 調査日：平成24年10月26日

工種	測定時間	調査結果		環境保全目標	主な使用建設機械	主な作業内容	備考
		騒音レベルの90%レンジ上端値(デシベル)	作業内容および使用機械	騒音レベルの90%レンジ上端値(デシベル)			
基礎杭工	11:00 ～ 11:09	69	・杭基礎工 ・リバース杭掘削機	85	・リバース杭掘削機	・杭基礎工	

調査地点位置図・機械配置図



(注)測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

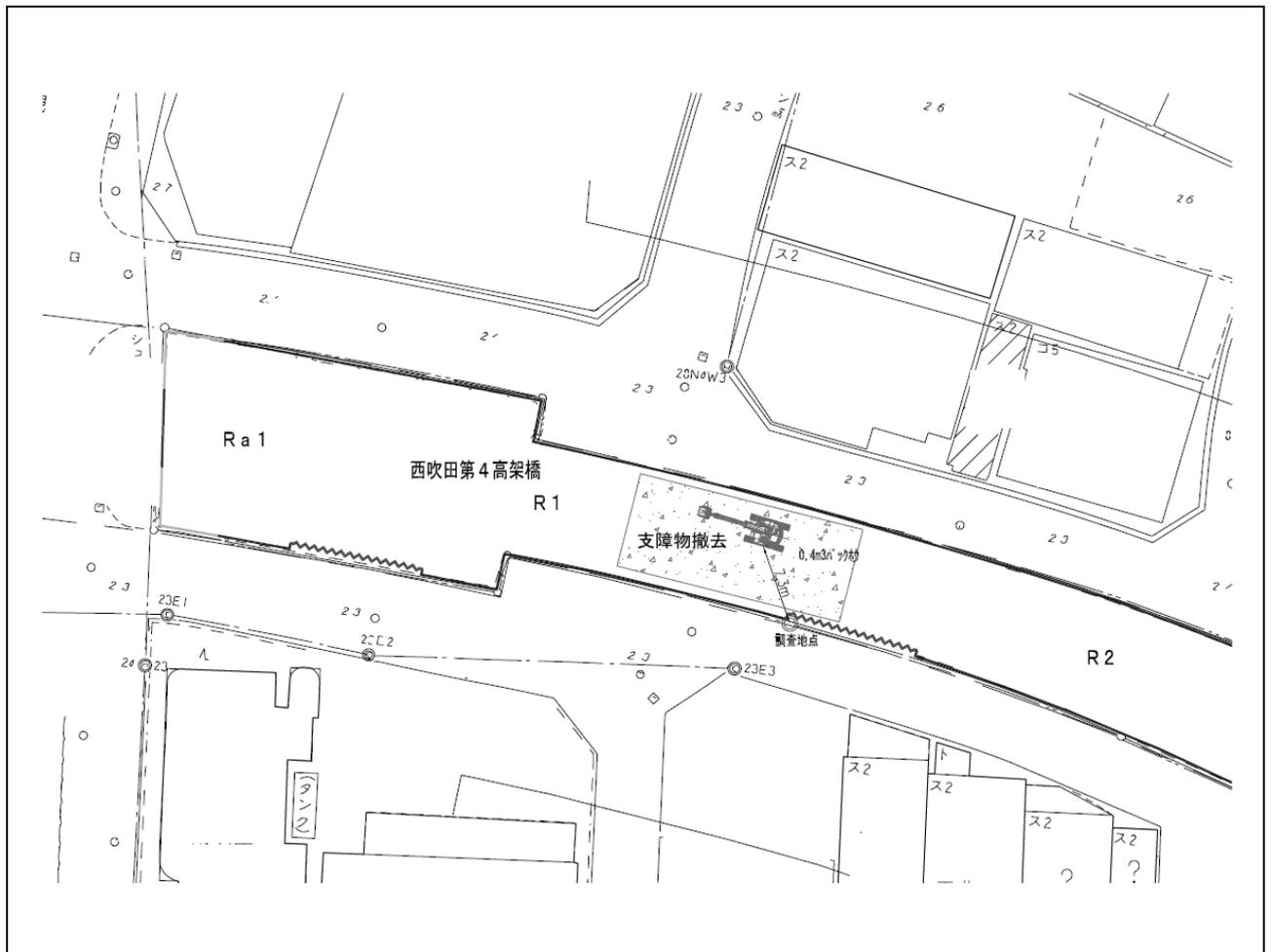
工事振動様式

**建設機械の稼働に伴う振動調査結果**

工区：(仮) 西吹田駅周辺工区      用途地域：第一種住居地域      調査日：平成 24 年 10 月 26 日

工 種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備考
		振動レベルの 80%レンジ 上端値 (デシベル)	作業内容 および 使用機械	振動レベルの 80%レンジ 上端値 (デシベル)	
準備工	9:29 ～ 9:38	54	・掘削工 ・0.4 m <sup>3</sup> バックホウ (低騒音型)	75	

調査地点位置図・機械配置図



(注) 測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

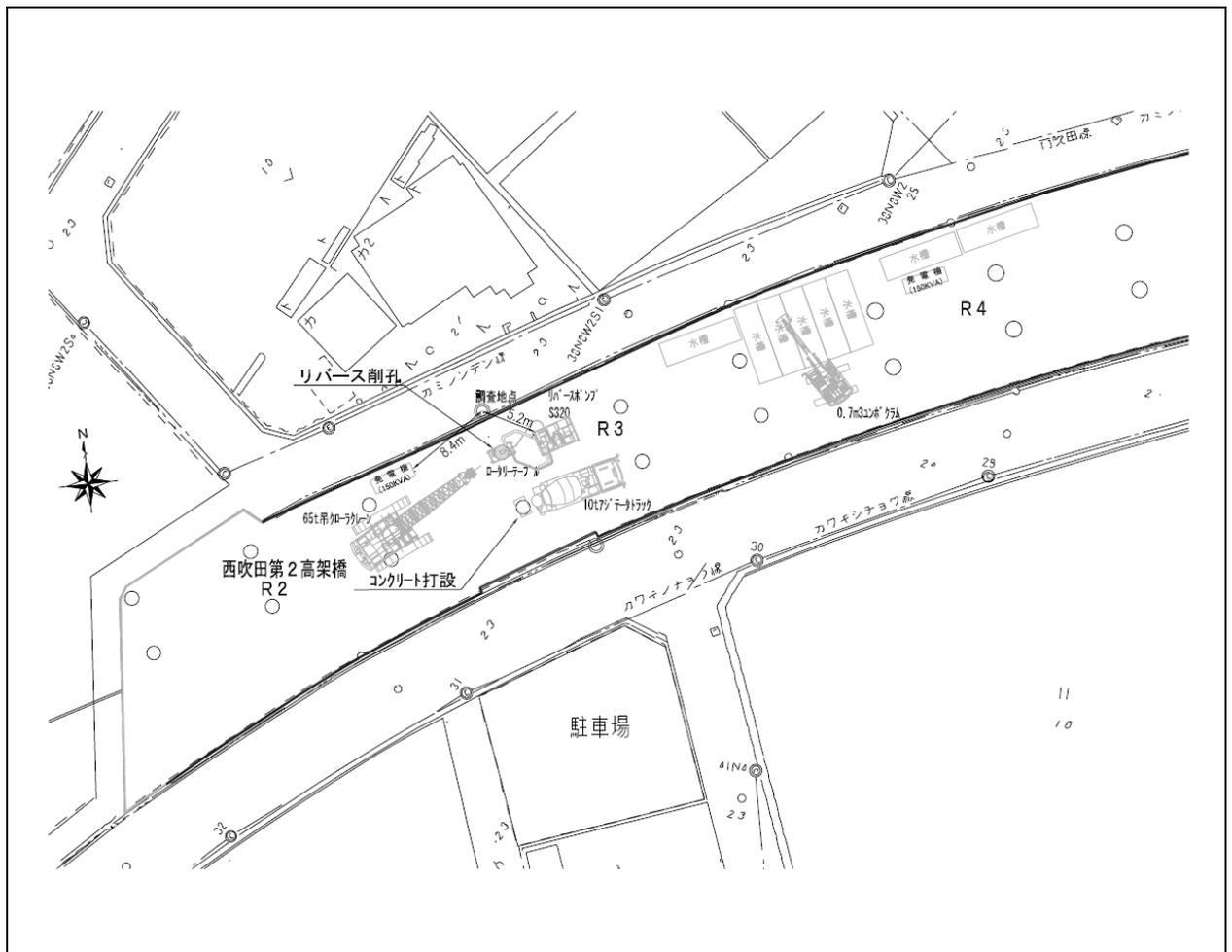
工事振動様式

**建設機械の稼働に伴う振動調査結果**

工区：(仮)西吹田駅周辺工区      用途地域：第一種住居地域      調査日：平成24年10月26日

工種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備考
		振動レベルの80%レンジ 上端値 (デシベル)	作業内容 および 使用機械	振動レベルの80%レンジ 上端値 (デシベル)	
基礎杭工	11:00 ～ 11:09	56	・杭基礎工 ・リバース杭掘削機	75	

調査地点位置図・機械配置図



(注) 測定位置と使用機械との距離を記入することとする。